

令和7年度 足立区大谷田グループホーム地域連携推進会議

開催日時	令和7年9月8日(月)14時20分～15時20分
開催場所	足立区大谷田グループホーム
会議参加者	ご利用者代表1名・ご家族代表1名、地域の関係者の方1名、 足立区障がい福祉課職員1名、福祉に知見のある方1名、 足立区大谷田グループホーム施設長・サービス管理責任者 各1名
【議題】	
<p>1 地域連携推進会議の開催にあたり</p> <p>(1)目的</p> <p>○地域連携推進会議の目的と背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームと入所施設の運営において地域連携が義務付けられた。目的は地域との関係作り、理解促進、透明性確保、サービス質向上、利用者の権利擁護。 ・グループホームと入所施設で障害者虐待が多いことが背景にある。 ・会議の構成員には利用者、家族、地域関係者、福祉・経営の知見者、自治体担当者が含まれる。 <p>(2)地域連携推進員(会議メンバー)</p> <p>○参加者の自己紹介</p> <p>2 事業所と地域の連携(利用者地域との関係づくり)について</p> <p>(1)足立区大谷田グループホームについて(画像紹介)</p> <p>○足立区大谷田グループホームの紹介</p> <p>※スライドによる説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足立区大谷田障がい福祉施設の3階に位置し、定員7名。短期体験コース(3ヶ月)と自立生活訓練コース(1年)がある。最長3年の期限付きグループホーム。 ・日課は6時起床、18時夕食。食事は調理提供。生活訓練として洗濯、掃除、部屋の整理整頓を行う。個別に小遣い帳を付けている。 <p>(2)地域との交流・地域行事等について</p> <p>○地域との交流・地域行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会のお祭りに参加。今週土曜日にも参加予定。 ・地域美化活動として、ごみ拾いを実施。自治会の清掃活動(3ヶ月に1回、第3日曜日)への参加を検討。 <p>3 サービスの透明性及びサービスの質の確保について</p> <p>(1)利用者の日常生活について</p> <p>○グループホーム利用者の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく生活できており、世話人やスタッフの対応が優しく、金銭管理も適切に行われている。 ・調理実習や行事(お祭り)への参加が楽しみ。他の利用者とも仲良くなれている。 ・洗濯や金銭管理ができるようになり、節約の意識も高まった。 	

○家族から見た変化

- ・金銭管理や節約の意識が向上し、自立的な行動が増えている。
- ・洗濯や調理など、家庭でも学んだスキルを実践している。

○利用者の将来の目標

- ・更なる節約と金銭管理の改善を目指す。
- ・1-2年後に一人暮らしを始め、最終的には結婚を希望している。
- ・グループホームの行事に積極的に参加したい。

(2)施設の運営状況について

○施設の運営状況

※スライドによる説明

- ・調理実習や学習会など、様々な訓練プログラムを提供している。
- ・地域のお祭りへの参加や模擬店運営など、地域との交流機会を設けている。
- ・年間を通じて複数回の避難訓練（火災、水害）を実施している。
- ・地域清掃活動を定期的に行い、地域貢献に努めている。
- ・年間活動予定を立て、毎月何らかの行事やイベントを計画している。

4 利用者の権利擁護について

(1)権利擁護・虐待防止への取り組みについて

○利用者の権利擁護

- ・グループホームは密室化しやすく、虐待のリスクがあることを認識している。
- ・虐待防止委員会を設置し、外部との意見交換の場を設けている。
- ・虐待防止や障害理解に関する研修を定期的実施している。

○職員の支援力向上の取り組み

- ・外部研修の実施と、法人内委員会での「にやりほっと」という啓発的取り組みによるモチベーション向上。
- ・「私の姿と気持ちシート」を用いて利用者の気持ちを客観視し、適正な支援と権利擁護、虐待防止に繋げている。
- ・シートには利用者の好きなこと、不安、願い、支援員への要望を職員が想像して記入し、実際の利用者の回答と比較。
- ・この取り組みにより、利用者への理解を深め、日々の支援に活かす機会を作っている。

(2)第三者評価の結果報告について

○第三者評価の結果報告

- ・足立区大谷田グループホームとして昨年度第三者評価を受審
- ・評価された点：体験型グループホームとしての日常生活プログラムの充実、虐待防止の取り組み
- ・改善が望まれる点：重度利用者の受け入れ、職員のスキルアップ、グループホームの情報発信
- ・改善への取り組み：重度利用者の短期受け入れ実施、SNSや広報誌を活用した情報発信の強化

5 事業所内の見学

3階の足立区大谷田グループホームの見学

○3階(利用者居室、世話人室、リビング、洗濯室、ベランダ等)の見学を実施。

※見学の際には、利用者へ実際に過ごしている感想を聞いた。

6 意見交換等について

○施設見学の感想

・3階の施設を見学する機会が少なく、改めて見学できて良かった。イベントが多いことに驚いた。

・勉強会を自分たちのグループホームでも取り入れたいと感じた。

○食事提供について

・自施設では、調理が苦手な職員もいるため、できあがったものを温めるような形式や調理専門の職員を配置している。

・大谷田グループホームでは、味付けは多少の差があるが、3人の世話人の味は同じくらいで美味しいとの評価。・栄養士が考えた献立をベースに、食材の都合や利用者の希望で変更することもある。

・平日と土日でボリュームが異なり、毎日5品程度出て満足度が高い。

○食事に関する要望

・朝食に納豆のリクエストがあった。

・牛乳を取り入れてほしいとの要望があった。アレルギーに配慮しつつ検討する。

○施設の食事評価

・栄養バランスがよく、手作りで温かい食事が提供されていることに評価をもらった。

・利用者の体重管理にも良い影響があり、栄養バランスの取れた食事提供が評価されている。

○施設運営について

・虐待防止の取り組みや金銭管理について質問があった。基本的に施設が先に支払い、月単位で請求する形式を採用している。

・食事の個別対応はあるが、金額に差をつけないように配慮している。

・法人内に5人の栄養士がおり、定期的な会議や訪問で食事の管理を行っている。

○情報提供に関する要望

・グループホームの体験や空き状況などの情報が分かりにくいという意見があった。

・体験型の受け入れを行っているのは当施設のみだが、今後の生活のための体験は他の施設でも可能。相談支援事業を通じて情報提供や調整を行うことができる。

以上